

平成30年2月1日
平成30年2月1日

平成30年第1回
南部町議会臨時会

会 議 録

南部町告示第12号

平成30年第1回南部町議会臨時会を次のとおり招集する。

平成30年1月23日

南部町長 陶 山 清 孝

記

1. 期 日 平成30年2月1日

2. 場 所 南部町議会議場

3. 付議案件

議案第1号 平成29年度南部町一般会計補正予算（第7号）

○開会日に応招した議員

加 藤 学君	荊 尾 芳 之君
滝 山 克 己君	長 束 博 信君
白 川 立 真君	三 嶋 義 文君
仲 田 司 朗君	板 井 隆君
景 山 浩君	細 田 元 教君
井 田 章 雄君	亀 尾 共 三君
真 壁 容 子君	秦 伊知郎君

○応招しなかった議員

な し

平成30年 第1回(臨時)南 部 町 議 会 会 議 録(第1日)

平成30年2月1日(木曜日)

議事日程(第1号)

平成30年2月1日 午前11時開会

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 議事日程の宣告
日程第4 議案第1号 平成29年度南部町一般会計補正予算(第7号)
-

本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 議事日程の宣告
日程第4 議案第1号 平成29年度南部町一般会計補正予算(第7号)
-

出席議員(14名)

1番 加藤 学君	2番 荊尾 芳之君
3番 滝山 克己君	4番 長束 博信君
5番 白川 立真君	6番 三鴨 義文君
7番 仲田 司朗君	8番 板井 隆君
9番 景山 浩君	10番 細田 元教君
11番 井田 章雄君	12番 亀尾 共三君
13番 真壁 容子君	14番 秦 伊知郎君

欠席議員(なし)

欠 員(なし)

事務局出席職員職氏名

局長 ----- 岩田典弘君 書記 ----- 杉谷元宏君

説明のため出席した者の職氏名

町長 ----- 陶山清孝君 副町長 ----- 松田 繁君
教育長 ----- 永江多輝夫君 総務課長 ----- 唯 清 視君
総務課課長補佐 ----- 藤原 宰君 企画監 ----- 中田達彦君
企画政策課長 ----- 大塚 壮君 教育次長 ----- 板持 照 明君
総務・学校教育課長 --- 見世直樹君 建設課長 ----- 田子 勝 利君
産業課長 ----- 芝田卓巳君

午前11時00分開会

○議長（秦 伊知郎君） ただいまの出席議員数は14名です。地方自治法第113条の規定による定足数に達しておりますので、平成30年第1回南部町議会臨時会を開会いたします。
直ちに本日の会議を開きます。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（秦 伊知郎君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員は、会議規則第125条の規定により、次の2人を指名いたします。
2番、荊尾芳之君、3番、滝山克己君。

日程第2 会期の決定

○議長（秦 伊知郎君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。
お諮りいたします。今期臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（秦 伊知郎君） 御異議なしと認めます。よって、会期は、1日間と決定いたしました。

日程第3 議事日程の宣告

○議長（秦 伊知郎君） 日程第3、議事日程の宣告を行います。

本日の議事日程は、お手元に配付の日程表のとおりであります。

日程第4 議案第1号

○議長（秦 伊知郎君） 日程第4、議案第1号、平成29年度南部町一般会計補正予算（第7号）を議題といたします。

町長から提案理由の説明を求めます。

総務課長、唯清視君。

○総務課長（唯 清視君） 総務課長です。

議案第1号

平成29年度南部町一般会計補正予算（第7号）

平成29年度南部町の一般会計補正予算（第7号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ10,049千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ7,252,382千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

（繰越明許費）

第2条 地方自治法第213条第1項の規定により、翌年度に繰り越して使用することができる経費は、「第2表 繰越明許費」による。

平成30年2月 1日

南 部 町 長 陶 山 清 孝

平成30年2月 日

決 南部町議会議長 秦 伊 知 郎

3ページをお開きください。地方自治法第213条に規定するものでして、年度内に支出を完了することができない見込みのあるものについて、あらかじめ議決を得て、翌年度に繰り越して使用することをできるものとするものであります。1番目の移住・定住促進対策事業300万円を筆頭としまして、全6事業としております。合計金額は、6,590万円としております。

6ページの歳出をお開きください。2款1項1目一般管理費です。54万5,000円補正しまして、3億2,102万7,000円とするものであります。これは主に西部町村会の負担金

の増に関するものであります。

それから、同じく第7目財産管理費84万3,000円を補正しまして、1億2,158万4,000円とするものであります。これは法勝寺庁舎のペレット代とか、あるいは出納室の文書庫の換気モーターの交換等であります。

9目企画費であります。324万円補正しまして、4億4,027万6,000円とするものであります。これは阿賀地区に新たにアパートの建設があるようでして、この賃貸住宅に関するものであります。それから、県西部の工場に南部町在住者が、雇用がされました。これは2名でありますので、それに関するもの等であります。

5款1項9目農地費です。これは130万補正しまして、5,114万9,000円とするものであります。これはしっかり守る農林基盤としまして、西原地区の水田の暗渠に関するものであります。

それから、9款1項2目事務局費であります。140万8,000円を補正しまして、4億387万7,000円とするものであります。これは高校等通学定期券助成事業に関しましてですが、見込みより申請者数が増となったためでございます。

9款の2項1目学校管理費です。これは161万補正しまして、5,679万9,000円とするものでございます。これは西伯小学校の電気代に関するものでございます。

同じく9款の3項の1目学校管理費ですが、これは40万補正しまして、4,226万5,000円とするものでございます。これは南部中学校の水道使用量の増がありまして、これは漏水が疑われますので、そのための調査を行うもの等でございます。

5ページをお開きください。歳入です。12款1項1目農林水産業費分担金でございます。これは26万補正しまして、207万7,000円とするものでございます。これは先ほど申しましたしっかり守る農林基盤の西原案件に関するものの20%でございます。

15款2項4目農林水産業費県補助金ですが、これにつきましてはブロッコリー産地再生緊急支援事業費補助金等でございます。

それから、19款1項1目繰越金でございます。これは収支ギャップを埋めるためでございます。

以上、御説明いたしました。よろしく御審議をお願いしたいと思います。

○議長（秦 伊知郎君） 提案説明を受けました。

提案に対して質疑はありませんか。

13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 質疑を、補正予算案事業別説明資料を見ながら質疑かけさせてください。

まず、1点目がCATVの施設管理の分です。この中で、補正額49万1,000円の内訳として理由が書かれています。そのうちの一つに、いわゆるこれまでの取り組みの中で南部町への転入者が増加して、ケーブルテレビの引き込み件数が多くなったと、こういうふうに書かれています。中を見る限りでは、修繕費の内訳で7万5,000円掛ける3となっているんですけども、例えばこのデザイン機構等の取り組みの中で件数がふえてきたとあって、ケーブルテレビが今回見込みよりも増加したというのは、当初見込みがこれだけだあって、どれだけふえたのかというのをちょっと教えてほしいのが1点。

2点目、次のページの庁舎等管理費（法勝寺庁舎）。提案理由が5つあるうちの5つ目の分です。下水道使用料がはね上がったという理由は何か。水道料をもとにしてるんだと思う。ふえてる理由って何なんですかということです。

それから、4ページ目の移住・定住促進対策事業。これは全員協議会でも内容についてお聞きしてきましたが、本会議ではここに書いてある、これまで補助制度の運用を開始して34戸分が建ってきていると。どのような方々が住まれていて、それで今後どのような需要があると見込んでいるのかという点ですね、そこを説明してください。

例えば日吉津村等なんかではどんどん建つんだけれども、新しいところ建っちゃったら新しいところに移って行って、これまで経年してきた分についてはなかなか固定資産税を取りにくいというような話なんかも出ているということ聞いたんですけども、南部町での動向はどうかという点を教えてください。

それから、あと1点は、教育委員会の分です。11ページ、高校等通学定期券助成事業。これは120万の増だということです。この点についていえば、一般財源を入れて補正前300万の120万、かなり利用があるということだなというふうに思っています。この点については非常にいい点だというふうに思うのですが、この伸びてきた原因と、今後それでこういうふうに直接的に、いわゆるこういう補助をすることについての成果ということをどのように考えているかということをお聞きしたいと思います。

○議長（秦 伊知郎君） 総務課長、唯清視君。

○総務課長（唯 清視君） 総務課長です。まず、CATVに関しましてですが、これにつきましては中ほどに記載しております金額ベースでたたいております。その主な要因として、転入者が増加したということで記載しております。

それから、次の下水道使用料の件ですが、御存じのとおり、下水道使用料は水道の使用量でカウントされます。水道の使用料がなぜ上がったかといいますと、これが数年間、同じような傾向が出ております。考えられる原因はペレットボイラーだと思います。なぜペレットボイラーで水道料が上がるかと申しますと、このペレットボイラーは、ペレットをたくことによって空気の気化熱を利用して冷却しております。冷却しますとどうしても水があふれ出ます。あふれ出た水のものが排出されることとなりますので、水道料が、使用料が上がると。だから下水料が上がるという理屈になります。以上です。

○議長（秦 伊知郎君） 企画監、中田達彦君。

○企画監（中田 達彦君） 企画監でございます。移住・定住促進対策事業の関係で民間の賃貸住宅と建設支援事業に関する御質問にお答えいたします。

町内にこれまで民間のアパートを建設されてるものが、私どもで把握してる限りですけれども19棟ございまして、部屋数としては99室があるように把握しております。その内訳でございますけれども、県内、特に最寄り、近隣の市町村からの転入の方が大体4割程度、県外からという方が3割程度ということで、大体7割程度の方、世帯が町外からお越しただいて、転入されてるというふうに把握をしております。こちらにつきまして、新規アパートにつきまして、これ聞いている範囲なんですけれども、新しいもの、建ったら割と埋まるというふうにはお聞きをしております。今後ともそういった状況はしばらく変わらないのかなとは思いつつも、やはり民間のアパートにお住まいの方が南部町、気に入ってくださって、今度は、例えば家を建てて住んで定住につながっていくような政策、今後検討していく必要はあるかなと考えております。以上でございます。

○議長（秦 伊知郎君） 総務・学校教育課長、見世直樹君。

○総務・学校教育課長（見世 直樹君） 総務・学校教育課長です。交通費の件でございますけれども、伸びてきている原因といたしましては、やはり保護者の方、生徒の皆さんに周知が広まったということがあると思います。町報とかでも広報していますし、保護者さん同士の情報のやりとりも大きいんじゃないかなというふうに思っています。まだ広がる、ふえる可能性ありますので、広報のほうをまた工夫していきたいなというふうに思っております。

成果といたしましては、回数券が2倍に伸びてますので、やはり天候によるもの、雨の日とか雪の日の使用が多いんじゃないかなというふうに予想しております。そういう面では、子供たちは自転車よりも安全性が確保できるとか、また、おうちの人や家族の人にとっては安心できるというようなところもあるんじゃないかなというふうに考えています。

○議長（秦 伊知郎君） 13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） それぞれ答弁いただきました。

4ページの企画監がお答えくださった移住・定住促進対策事業なんですけど、これも言ってみれば、一般財源を投与して効果がどうなのかという検証が必要ですよ。その限りでは、効果があって人口増に貢献しているという筋が出ているというふうに見ていいと思うんですけども、知りたいのはその傾向なんですね。それで、県内が4割、県外が3割、こういうふうに課、言っています。それで、どのような方々が住むことが多いというふうに見てるんでしょうか。

一つには、いわゆる企業誘致してきていますよね。そこに来られる外国人の方も住むのではないかなというようなことを言ってるんですけども、いわゆる1つ建てるに当たっては、投資するんだから需要がしっかりと入っていただくという地盤があるという点でいえば、ただ自然発生的に待っているのではなくて、企業誘致してきたことなんかも位置づけているのかなというふうに感じたんですけども、その辺について企業誘致をしてきて、そこでの町内に住むというような傾向というのはあるのかという点ですね、その点についてはどうなんでしょうか。

○議長（秦 伊知郎君） 企画政策課長、大塚壮君。

○企画政策課長（大塚 壮君） 企画政策課長でございます。議員さんおっしゃるとおり、新しい新築の賃貸住宅につきましては、阿賀の今、1棟できておりますけど、14棟ですか、できておりますけれども、それについては町内誘致企業のNOKさんのほうが全棟借り上げられてまして、一応、従業員をそちらのほうに住まわせていただいているという状況でございます。その従業員につきましては、やはり鳥取県西部も全てなんですけれども、製造業にかかわる従業員が、人手不足があるということもございまして、一応、中国の関連企業のほうから南部町のほうにお越しいただいて、工場に携わっていただいているというふう聞いておるところでございます。以上でございます。

○議長（秦 伊知郎君） 10番、細田元教君。

○議員（10番 細田 元教君） 3点。まず、教育のほうの水道代の問題で予算がついてますが、あれここの5カ所でいいのかな。全部わかったんですか、それ。要は切っちゃってバイパスつけたら直りそうなんですけど、それでもう完全にとまると思っておられるのかということと、最後のページの14ページのロボコン、法勝寺中学校は、ロボコンはどういうものを出して優秀な成績をおさめたか、ちょっと教えていただけませんか。

それと、もう一点は、今の移住・定住の分ですけど、確かにNOKが1棟使われてとかいろいろあるんですけど、企業誘致関係ですけども、私の勘では、南部町というのは住みよかったです。

働くのは米子で住むのは南部町ということで、ニュータウンでもよう借家に入っておられるし、そういう関係の人が、そういう傾向があるかないかということをお聞きしたいと思います。

○議長（秦 伊知郎君） 総務・学校教育課長、見世直樹君。

○総務・学校教育課長（見世 直樹君） 総務・学校教育課長です。ロボコンについてお答えしたいと思います。

法勝寺中学校科学部が中心になってこういう取り組みに意欲的に参加したのは本当にすばらしいなと思います。具体的などという課題が出て、どういうロボットをつくっていうところまでは聞いておりませんが、2チーム出て、高校のロボコンのように物を運ぶとか飛ばすとか、そういう課題をクリアしていくというロボットです。その簡単なロボットをつくって競争していくということです。2チーム出場して、1チームが1勝1敗で、もう1チームは2敗でしたけども、予選敗退という結果ではあったんですけども、そういうふうに取り組んだというふう聞いております。以上です。

○議長（秦 伊知郎君） 教育次長、板持照明君。

○教育次長（板持 照明君） 教育次長でございます。漏水の関係でありますけども、中学校のほうでは、見える部分については漏水のほうは確認できなかったということで、主に建物の床下の部分を5カ所区切りながら、区間を区切って調査を行うというように今計画をしておりますので、その区間ごとで一応、音波、音によって探知機を使って調査を行って、その区間ごとで何事もなければ次の区間ということで予定をしております。もし、その区間に何か異常があった場合には早急に対応してまいりたいというふうに考えております。

○議長（秦 伊知郎君） 企画政策課長、大塚壮君。

○企画政策課長（大塚 壮君） 企画政策課長です。町内の誘致企業のお話だと思いますけれども、企業さんとお話しする機会がありましていろいろ話を聞いていますと、企業的にもやはり町内の方を雇用したいと、町内に住んでいただきたいということを頑張っているところなんです。問題は、やはり賃貸というところで、賃貸住宅に住ませたいんだけど、そういった物件が少ないといったところを聞いておりますので、今回の14棟につきましては、また新しい顧客を開拓できるんじゃないか、企業誘致の新しい職員さんもそちらのほうに住んでいただけるんじゃないかという期待を込めておるところでございます。以上です。

○議長（秦 伊知郎君） 10番、細田元教君。

○議員（10番 細田 元教君） ごめんよ、もう一点です。教育課長さん、答弁が知らんというのはちょっとね、せっかくこういうところにロボコンで、ようテレビ放映されますが、ああいう

ロボコンかなと想像はしたんですけども、そうではないみたいですけども……（発言する者あり）後でいいですけど、ちゃんとあの辺を掌握してもらおうと助かるし、漏水の件は、区切ってやるのはいいかもしれんけど、確かにコンクリの中だったらわかりにくい。あれだったら費用対効果もありますけども、最初からもう外づけのバイパスでばちんとしたのがいっそ早いやな気がするんですけども、この辺は後ろの課長と費用対効果を考えて検討されやいいやな気がしますけども、それはいかがかということ、企画課長、南部町を、移住・定住は確かにNOKさんを中心にもされてもいいですけども、南部町というのは、勤めるは米子でもいいんですけど、米子って30分で行かれるところなんですよ。大変立地条件はいいそうです。それについての意気込みとか、そのような施策が必要だと思います。一般質問すりゃいいかもしれませんが、そういうような考えをひとつ持っていただきたいと思いたすんですけども、後ろの企画監やちと相談されて、わかればお願いしたいということです。

○議長（秦 伊知郎君） 総務・学校教育課長、見世直樹。

○総務・学校教育課長（見世 直樹君） 総務・学校教育課長です。学校のほうからは、高校のロボコンのような感じで、それよりも少し課題が簡単なシンプルなものというふうに聞いています。だから、移動して物を運んだりとか、そういう高校のロボコンの簡略版のように把握しております。直接ちょっとそのロボットを見てなかったものですから、そういう表現になってしまいました。失礼しました。以上です。

○議長（秦 伊知郎君） 教育次長、板持照明君。

○教育次長（板持 照明君） 教育次長でございます。事前に建設課の水道担当にも相談をさせていただきながら、現地も見ていただいた上で調査がやっぱり必要だないかなというところでの今回上げさせていただいております。外づけで水道を回したらいいじゃないかという御意見ですけども、なかなか距離、学校の建物自体に全部外づけでということになるとまた多額な費用がかかってくると思っておりますので、必要最小限で工事のほうはしていきたいなというふうに考えております。

○議長（秦 伊知郎君） 企画監、中田達彦君。

○企画監（中田 達彦君） 企画監でございます。南部町は住みやすいということで、そういった施策をとということでございます。

先ほど、このたび補正お願いをしております民間の賃貸住宅の建設に対する補助とあわせまして、民間宅地開発の支援事業ということで、いわゆる分譲用宅地の造成に関する経費に対する補助の制度も今持ち合わせております。まずはそういった開発等を南部町のほうに、定着につな

るようなことをこういった制度もPRしながら進めていきたいと思っております。以上でございます。

○議長（秦 伊知郎君） 4番、長束博信君。

○議員（4番 長束 博信君） 4番、長束です。ちょっと12ページのほうの小学校管理費ですか、この件なんですが、予算額が526万に対して発行済み額が、執行がもう既に終わってしまったということで、補正のあれなんですけれども、これを見ますと金額がずっと上がってきてるのは随分前から上がってきておまして、予算がなくなるまで全然これわからないのかどうかということをもっと早くに気がつくべきではないかなと。約1年間ぐらい、結構値段がアップしております。二、三カ月すればわかるんじゃないかなと思うんですが、このあたりのチェック体制、それから今後、この電力量に対してどういうふうに対応といいますか、今後そのピーク時と、その差異が発生しそうなときとかした場合はしょうがないんでしょうけど、そういうやつの対応策、今後に向けての、ちょっとその辺のお話を確認したいなと思います。以上です。

○議長（秦 伊知郎君） 総務・学校教育課長、見世直樹君。

○総務・学校教育課長（見世 直樹君） 議員がおっしゃいますように、まず本当に電気量のこのシステムといいますか、それをしっかり理解をしてそれに応じた対応を現場も、我々教育委員会もアドバイスしていく必要があったところがちょっと不十分だなというところは反省しております。今後、中国電力とかにも電気料の割引のこととか聞いて、しっかりシステムをわかった上で対処していきたいと、今後クーラー導入もありますので、していきたいというふうに思っています。

○議長（秦 伊知郎君） よろしいですか。ほかに質疑ありませんか。

5番、白川立真君。

○議員（5番 白川 立真君） 6ページのブロッコリーと、ブロッコリーの農薬散布について1点お願いしたいと思います。

農薬を散布されたことで、今、全国的に大変野菜が高騰してるわけですが、農薬を散布されてその後どうなっているかという現場の声というのは聞かれているかというのが1点と、11ページの定期券、先ほど回数券は2倍ほどに伸びたと言われますが、定期券のほうはどうかということとを教えてくださいたいと思います。2点でお願いします。

○議長（秦 伊知郎君） 産業課長、芝田卓巳君。

○産業課長（芝田 卓巳君） 産業課長です。現場の声ですが、まだこちらのほう、申請のほう

が来ておりませんというのが1つと、現場から直接その対策を実施したということの声は、届けてもらってないということでちょっと把握しておりません。申しわけありません。

○議長（秦 伊知郎君） 総務・学校教育課長、見世直樹君。

○総務・学校教育課長（見世 直樹君） 総務・学校教育課長です。回数券が2.09倍、昨年度に比べて伸びておりまして、定期券のほうは1.27倍の伸びがあります。以上です。

○議長（秦 伊知郎君） 白川議員、よろしいですか。

○議員（5番 白川 立真君） はい。

○議長（秦 伊知郎君） ほかにございますか。

7番、仲田司朗君。

○議員（7番 仲田 司朗君） 失礼します。高校の通学定期のことについてお聞かせ願いたいと思います。

まず、保護者同士の連携とか、あるいはPRのことで増額になったということですが、例えばこの地域の方で遠隔の方が多いと思うんですけれども、この利用されておられる高校生は地域で何人ぐらいおられるのか、回数はふえたということがあるんですけれども、人数的にはどうなのかというようなことがわかったら教えていただきたいと思うんですが。（サイレン吹鳴）

○議長（秦 伊知郎君） 総務・学校教育課長、見世直樹君、しばらく待ってください。

どうぞ。

○総務・学校教育課長（見世 直樹君） 総務・学校教育課長です。今ちょっと手元に数字がありませんので、今ちょっと申し上げられませんが、また報告したいと思います。

○議長（秦 伊知郎君） 仲田議員、よろしいですか。

○議員（7番 仲田 司朗君） はい。

○議長（秦 伊知郎君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（秦 伊知郎君） 質疑がないので、質疑を終結して、これから討論を行います。

原案に賛成のほか討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（秦 伊知郎君） これで討論は終わります。

これより、議案第1号、平成29年度南部町一般会計補正予算（第7号）を採決いたします。

議案第1号は、原案どおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（秦 伊知郎君） 御異議なしと認めます。よって、本案は、原案どおり可決されました。

○議長（秦 伊知郎君） 以上をもちまして今期臨時会の会議に付議されました事件は全て議了いたしました。

よって、第1回南部町議会臨時会を閉会したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（秦 伊知郎君） 御異議なしと認めます。これをもちまして平成30年第1回南部町議会臨時会を閉会いたします。長時間、御苦勞さんでした。

午前11時31分閉会
